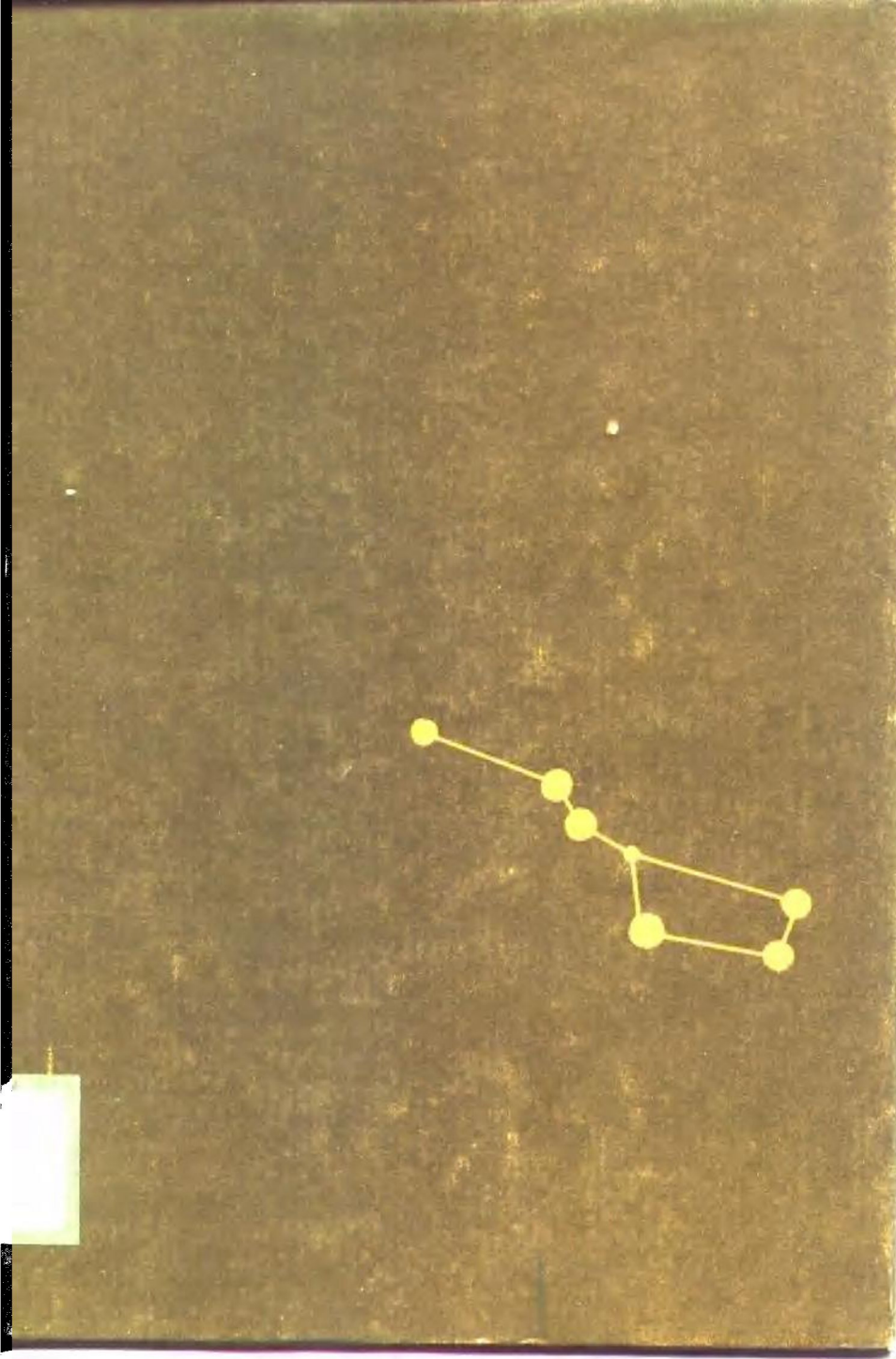




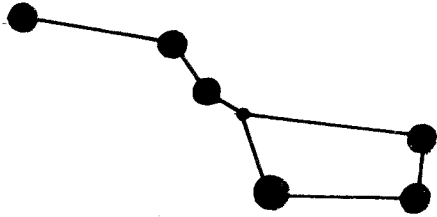
K828.33

1-3

2

杨
斌
著

徐福
东渡
之谜



B060/17

吉林文史出版社

B

617762

Xufu Dongduzhimi
徐福东渡之谜

杨 斌 著

责任编辑：俞慈韵 康迈伦

封面设计：王 潇

吉林文史出版社出版	787 × 1092毫米 32开本 5.575印张9插页132千字
(长春市斯大林大街副136号)	1989年 3月第1版 1989年 3月第1次印刷
长春市东新印刷厂印刷	印数：1—3396 定价：4.00元
吉林省新华书店发行	ISBN 7 80528-096-7/K·43



秦 徐 福 像



徐福的马鞍（系日本国宝）



徐福坐像（日本国宝、“文化财”，在熊野速玉神社内。后白河上皇曾参拜过34次）



成山头（山东荣成）



秦皇 宫遗址



本书作者于1985年在日本大阪徐园大饭店拜会日本徐福会名誉会长世耕政隆先生时情形。图中右二即近畿大学校长世耕政隆先生，右三为中国驻大阪副总领事郭磊，右一为前影星、现日本众议院议员李香兰（日名山口淑子），后站立者为徐园总经理、华侨徐礼绪先生，左为作者。



作者在日本新宫会见日本徐福会会长冲田玄先生（左）情景（1980年5月）



日本徐福墓（和歌山新宮市）



徐福碑（日本和歌山
新宮市徐福墓前）



日本蓬莱山（新宮市）



无学祖元禅师徐福像（藏日本镰仓圆觉寺）



日本徐福会成员访问中国万里长城合影（1983年）：左1是徐福庙重建委员会委员长西满先生左4是中瀬古先生右5是徐福庙重建委员会副委员长中上先生左2是中西靖治先生左3是角口先生



蓬莱阁



日本徐国大饭店（大阪）



日本天皇、皇后参拜徐福墓纪念标（新宫市速玉神社）

据正史记录统计，宇多天皇参拜1次，鸟羽上皇16次，后鸟羽上皇23次，白河上皇7次，后白河上皇34次，花山上皇2次，崇德上皇1次，后嵯峨上皇3次。



以徐福命名的日本折宫市饭店



秦皇桥遗址（山东荣成）



徐福在日本登陆处——熊野三山（阴山、阳山、和山）

徐福村

一九八五年初春

趙朴初



徐福與日本

蜀人張大千書



张大千先生的题辞

赵朴初先生为徐福故里
——徐福村题写的村名
碑文（1985年春）

引 子

关于徐福，古往今来，有着种种神奇的传说。徐福东渡，乃世之壮举，意义深远。但徐福为何东渡，其船队从何处起航，怎样漂洋过海，又在哪儿登陆……这些，又成了人人关心，又人人不解的谜。笔者愿以读者向导的身份，对徐福其人其事探踪索迹，寻着徐福东渡的脚印进行一番游历，以求得交给读者一把解开徐福东渡之谜的钥匙。

还是让我们从头说起吧。

目 次

引 子	1
第一章 徐国、徐族的历史演变	1
第二章 徐福其人	6
一、徐福的故里	6
二、徐福是秦之方士	9
第三章 徐福东渡的种种传说	11
一、徐福入海求神仙	11
二、徐福覆舟而亡	12
三、徐福去美洲	17
第四章 徐福渡海去何方?	23
一、《史记》的记载	23
二、《义楚六帖》的记载	25
三、徐福到海外的登陆地点	27
四、“平原广泽”与日本	31
五、古代文豪学者谈徐福东渡日本	33
第五章 徐福是怎样漂洋过海的?	35
一、徐福东渡在何处起航?	36
二、船舶修造及工具的利用	38
三、利用海流巧渡	40
四、“左旋回流”的奥妙	42
五、战胜成山头恶流	47
第六章 徐福在中国的史迹传说	50
一、徐福在中国的史迹	50

二、徐福在中国的传说	59
第七章 徐福在日本的史迹传说	74
一、徐福宫与徐福墓	74
二、徐福碑	75
三、徐福庙	79
第八章 徐福与日本神武天皇考	82
一、二十一点质疑	82
二、从“天孙”、“狭野尊” 到“神武天皇”的来历	97
第九章 徐福事迹在中国民间的影响	113
一、徐福事迹对园林建设的影响	113
二、徐福事迹对文学艺术的影响	119
三、徐福事迹对起名字的影响	120
〔附录〕	121
一、徐福的世系宗亲	121
二、中日诗人雅士谈徐福	123
古风	(唐) 李 白 123
杂诗	(唐) 李 白 124
送丹丘子	(唐) 李 白 124
崂山	(唐) 李 白 124
哀伤	(唐) 李 白 125
梦游天姥吟留别	(唐) 李 白 125
衔命还国作	(日本) 晁 衡 (阿倍仲麻吕) 125
东海	(唐) 胡 曾 126
交徵书初篇 (卷二)	(唐) 鸿 渐 126
海漫漫戒求仙也 (一节)	(唐) 白居易 127
日本刀歌	(宋) 欧阳修 127
海市	(宋) 苏东坡 128
记梦	(宋) 李清照 128

祭徐福诗	(南宋) 祖 元 129
听客话日本熊野徐福庙	(元) 吴 莱 130
元贼谋攻日本二绝	(元) 中兴集 130
小孤山	(元) 丁鹤年 130
小孤山	(明) 解 缙 131
应制赋三山	中津绝海 131
明太祖和诗	朱元璋 131
日东曲	(明) 宋 濂 132
月夜游南海	(平度) 王崧翰 132
罗台怀古	132
戊申	(明) 董锦章 133
崂山	(明) 陈 沂 133
神山现市	(明) 徐人凤 134
万里澄波	徐人凤 134
观海	(清) 黄体中 134
咏徐福	(清) 黄遵宪 134
咏徐福	李建宏 135
狮子峰观海	(胶州) 黄 垆 135
崂山看海市	(清) 唐梦赉 136
三杯山	(即墨) 蓝 田 136
华楼	(山东提学) 邹 善 136
望海	(即墨) 黄宗庠 137
观海	(即墨) 蓝启肃 137
崂山	(即墨) 黄宗辅 137
小蓬莱	(即墨) 蓝启华 138
老子宫	(即墨) 张 鹤 138
崂山观潮	(即墨) 黄宗辅 138
溪上	(即墨) 黄嘉善 139
游崂山记	(山东提学) 邹 善 139

使东杂咏	(清朝驻外使节) 何如璋 139
徐福墓	140
徐福东渡	王金林 140
日本京都市睿山记游	陈友琴 141
观海	(用东坡韵) 邝元乐 141
狱中赠邹容	章太炎 142
靖海卫展龙池	(明朝邑人) 曹 贤 142
望槎山	王一贯 142
槎山清凉顶	宋 雍 143
重游槎山	吕 槐 143
崑崙山	(明清邑人) 曹 贤 143
徐福岛	(清) 黄体中 144
徐福东渡	佚名 144
召石山	(文登邑人) 吕月正 144
徐福遗址留诗	(清) 黎庶昌 145
观海	秦 玘 145
日照观海	(宣城) 施闰章 145
笔峰春晓	赵应元 146
石臼所观海	(青州) 叶先登 146
秦桥遗迹	荣成人 147
咏海	(日照知县) 张成教 147
朝元观二首	(日照知县) 杜一岸 148
宿巨峰	朝阳洞 148
海市	丁 岢 148
登奎山	(日照稠川) 杨九锡 150
日照道中望海	(祀部郎中) 曹贞吉 150
石臼所观海	丁士一 151
白云碣	(长山县) 李雍熙 151
扶桑八百岭	(光绪祭卯) 姚柳屏 151

崂山纪游	(即墨) 林 溥 152
又一首	152
登崂山绝顶望海	(安邱) 刘源禄 152
秦皇庙	明清时人 153
华岩菴	(胶州) 高凤翰 153
神清宫道中	(莱阳) 孙笃先 153
南雁荡山纪游	咏云关 佚 名 154
登蓬莱阁	张重晖 154
宿蓬莱阁和韵	张嗣诚 154
和长兄登蓬莱阁	赵 隆 155
蓬莱阁观海	赵 峯 155
龙山远照	(海阳) 李汝瑛 156
凤台日出	(海阳) 李本渥 156
登州怀古	赵似祖 156
相城遥望	157
登望石山	(明莱阳) 李 铎 157
雨后登芦山	(莱阳) 咸怀良 157
环翠楼望月台	(文登守备) 刘正学 158
文山怀古	阎学海 158
文山登眺	(邑人) 吕 琨 158
刘公岛	当地文人 159
望海	古齐人 王崧翰 159
游十渡	李丽中 159
日本少林寺大雁塔落成志喜	赵朴初 160
日本纪游	陈友琴 160
七月二十四日附五古一首	(余姚) 潘锦圭 161
徐福墓	(日本) 福田静处 162
徐福墓	(日本) 泽锦浦 162
徐福宫	(日本) 祇园南海 162